

## 第2部 水産物編

## 1 調査の仕組み

この調査は、東京都区部（以下「東京」という。）にあつては東京都中央卸売市場（築地）、大阪市（以下「大阪」という。）にあつては大阪市中央卸売市場（本場）から仕入れを行つて販売する小売店舗・食材卸問屋（東京40店、大阪40店）において、調査期日の平成14年10月1日に販売された調査品目の水産物について、その流通経路をそ及して流通段階別価格を事例的に調査したものである。

## 2 流通段階別価格の収集事例件数

流通段階別価格の収集事例件数は、東京で販売されたものが93件、大阪で販売されたものが34件であった（表1）。

表1 流通段階別価格の収集事例件数

品 目	単位：件			
	東京都区部		大阪市	
	小売店舗 販売	食材卸問屋 販売	小売店舗 販売	食材卸問屋 販売
合 計	91	2	28	6
国 産 品	88	1	28	6
生 鮮 品	86	1	27	5
か つ お	13	-	7	3
ま い わ し	13	1	5	-
ま あ じ	15	-	4	-
さ さ ば	5	-	-	-
さ ん ま	14	-	2	-
は ま ち（養殖）	5	-	1	-
ま だ い（養殖）	4	-	1	2
す る め い か	8	-	5	-
ほ た て が い（養殖）	9	-	2	-
塩 蔵 品	2	-	1	1
塩 ざ け	2	-	1	1
輸 入 品（冷 凍 品）	3	1	-	-
さ け	1	-	-	-
えび（ブラックタイガー）	2	1	-	-

### 3 調査時期の水産物市況等の状況

(1) 平成14年10月の水産物の産地水揚げ量は、まあじ、まだい、するめいか（生鮮）及びまいわしが前年同月に比べ増加した。産地卸売価格は、まあじ、まだい及びまいわしが前年同月に比べ下回り、産地水揚げ量の減少したかつお（生鮮）、さんま及びぶり類が上回った。

また、輸入量は、かつお（生鮮）、さけ・ます類、まだい及びえび類が増加した（表2）。

表2 調査時期の水産物供給の状況

品 目	1) 上 場 水 揚 量				2) 産地卸売価格		3) 輸 入 量	
	平成14年10月	対前年同月比	平成13年11月～平成14年10月累計	対前年同期比	平成14年10月	対前年同月比	平成13年11月～平成14年10月累計	対前年同期比
	t	%	t	%	円/kg	%	t	%
かつお（生鮮）	3 651	62	4 7 911	76	478	112	67 187	122
さけ・ます類	...	...	...	...	...	...	275 134	103
ま あ じ	16 244	242	113 268	98	121	51 4)	54 471	86
さ ば 類	29 914	101	240 938	96	80	107	150 033	88
さ ん ま	82 585	98	215 785	87	114	139	3 769	39
ま だ い	316	115	3 471	94	887	88 5)	5 441	106
え び 類	...	...	...	...	...	...	249 827	103
するめいか（生鮮）	23 263	113	107 628	98	176	205	...	...
ま い わ し	4 471	329	36 784	24	149	75 6)	28 746	87
ぶ り 類	3 902	57	27 366	75	285	139 7)	734	79

資料： 農林水産省統計情報部「産地水産物流通統計」及び財務省「貿易統計」による。

注： 「産地水産物流通統計」は上場された各魚種全体の平均価格である。

1) は、全国主要42漁港における水揚げ量のうち、産地卸売市場に上場された数値である。

2) は、全国主要42漁港における産地卸売市場の水揚げ額を上場水揚げ量で除したもので、消費税を含む価格である。

3) は、生鮮品・冷蔵品・冷凍品の合計である。

4) は、あじである。

5) は、たいである。

6) は、いわしである。

7) は、ぶりである。

(2) 消費地卸売市場における平成14年10月の水産物の卸売価格は、東京都中央卸売市場（築地市場）では、まだい、ほたてがい（殻付）及びまいわしで前年同月を下回り、かつお、さんま、するめいか、はまち（養殖）、さけ類及びえび類（輸入）で上回った。

一方、大阪市中央卸売市場（本場）では、かつお、まあじ、さんま及びまだいが前年同月を下回り、さば、するめいか、ほたてがい（殻付）、まいわし、はまち（養殖）及びえび類（輸入）で上回った（表3）。

表3 中央卸売市場における販売状況（平成14年10月）

品 目	東京都中央卸売市場（築地市場）				大阪市中央卸売市場（本場）			
	卸売数量	対前年同月比	卸売価格	対前年同月比	卸売数量	対前年同月比	卸売価格	対前年同月比
	t	%	円/kg	%	t	%	円/kg	%
生 鮮 品								
か つ お	637	72	791	125	209	97	733	98
ま あ じ	1 280	107	470	100	1) 329	97	417	99
さ ば	803	102	500	100	543	95	445	106
さ ん ま	2 825	84	391	114	733	116	388	93
ま だ い	406	123	882	77	2) 398	122	873	80
す る め い か	1 058	64	410	140	437	64	359	131
ほたてがい（殻付）	330	102	255	94	64	237	1 153	110
ま い わ し	477	115	481	96	235	75	406	107
は ま ち（養殖）	507	79	879	127	97	65	929	111
冷 凍 品								
さ け 類	2 192	98	541	150	305	100	527	100
え び 類（輸入）	1 092	110	1 576	108	234	141	1 465	109
水産加工品								
さ け 類（塩蔵）	84	6	747	136	367	114	906	105

資料： 東京都中央卸売市場『市場月報（水産物編）』及び大阪市中央卸売市場『市場月報（水産物編）』による。

注： 「東京都中央卸売市場『市場月報（水産物編）』」及び「大阪市中央卸売市場『市場月報（水産物編）』」は上場された各魚種全体の平均価格である。

- 1) は、あじである。
- 2) は、天然、養殖の計である。

(3) 平成14年10月の小売価格は、東京では、さけ、えび（輸入品）、ほたてがい及び塩さけで前年同月を下回り、あじ、いわし、かつお、さば、さんま、たい、ぶり及びいかで上回った。

大阪市中央卸売市場（本場）では、かつお、さけ、たい、いか及びえび（輸入品）で前年同月を下回り、あじ、いわし、さば、さんま、ぶり及びほたてがいで上回った（表4）。

表4 東京及び大阪における小売物価の状況（平成14年10月）

品 目	東京都区部		大阪市	
	小売価格	対前年同月比	小売価格	対前年同月比
	円/kg	%	円/kg	%
あ じ	1 290	110	1 630	101
い わ し	1 220	127	1 250	142
か つ お	2 770	114	1 940	77
さ さ け	2 250	97	1 760	85
さ さ ば	1 320	108	1 460	109
さ さ ん ま	980	117	1 130	112
た い	2 760	102	2 420	96
ぶ り	2 730	101	2 790	101
い か	800	105	660	99
え び（輸 入 品）	3 160	98	3 000	91
ほ た て が い	1 860	92	2 250	110
塩 さ け	2 290	96	2 520	100

資料： 総務省統計局『小売物価統計調査報告』による。

#### 4 品目別流通段階別価格の特徴

##### (1) かつお

ア 東京の6段階流通（消費地市場委託販売）における流通段階別価格についてみると、生産者受取価格は416円、卸売価格は623円、仲卸価格は795円、小売価格は2,076円であり、産地は宮城が中心で、小売店舗における販売形態は加工売り（刺身）であった。また、6段階流通（消費地市場買付販売）では、生産者受取価格は345円、卸売価格は441円、仲卸価格は636円、小売価格は1,484円であり、産地は岩手が中心で、小売店舗における販売形態は加工売り（刺身）であった。

大阪の6段階流通（消費地市場買付販売）では、生産者受取価格は544円、卸売価格は773円、仲卸価格は1,060円、小売価格は1,444円であり、産地は宮城で、小売店舗における販売形態は加工売りが中心であった。

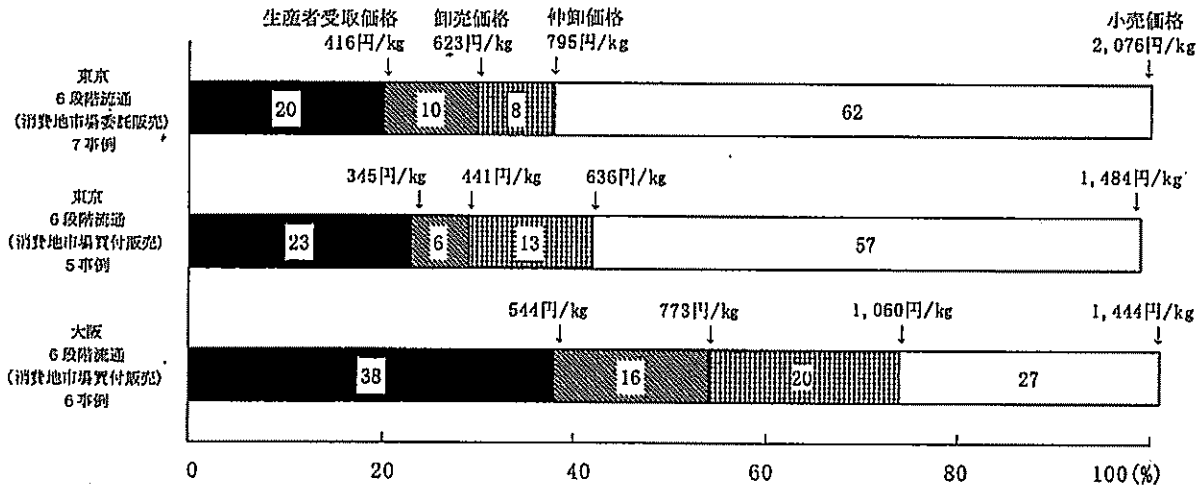
イ 小売価格に占める各流通段階別の価格差を割合で見ると、東京の6段階流通（消費地市場委託販売）では、生産者段階（生産者受取価格÷小売価格。以下同じ。）で20%、卸売段階（（卸売価格－生産者受取価格）÷小売価格。以下同じ。）で10%、仲卸段階（（仲卸価格－卸売価格）÷小売価格。以下同じ。）で8%、小売段階（（小売価格－仲卸価格）÷小売価格。以下同じ。）で62%であった。ま

た、東京の6段階流通（消費地市場買付販売）では、生産者段階で23%、卸売段階で6%、仲卸段階で13%、小売段階で57%であった。

大阪の6段階流通（消費地市場買付販売）では、生産者段階で38%、卸売段階で16%、仲卸段階で20%、小売段階で27%であった。

ウ これを全価格比でみると、東京の6段階流通（消費地市場委託販売）で4.99倍、東京の6段階流通（消費地市場買付販売）で4.30倍、大阪の6段階流通（消費地市場買付販売）で2.65倍であった（図1、2）。

図1 かつおの小売価格に占める各流通段階別価格差の構成割合

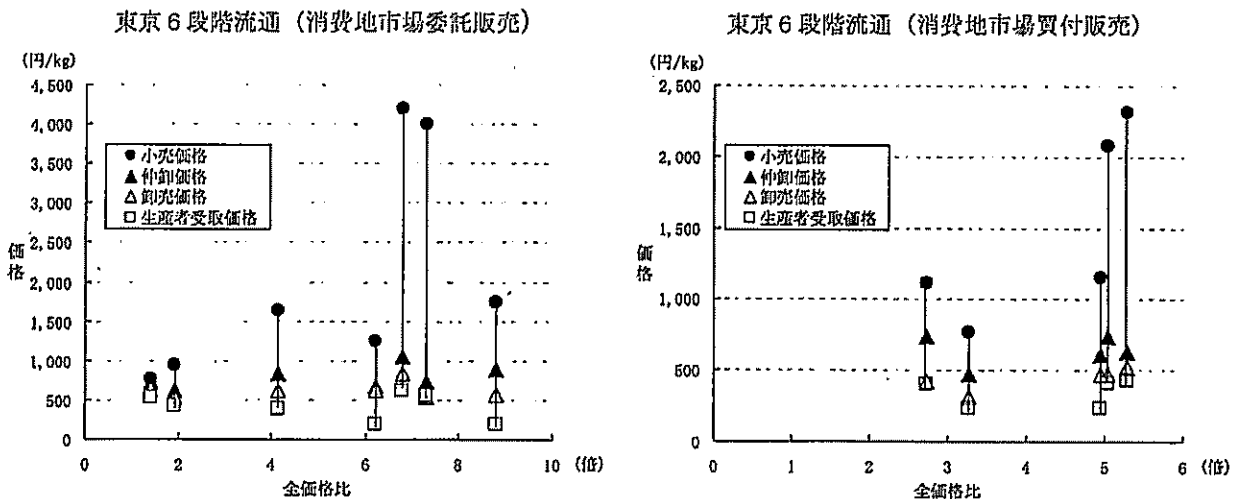


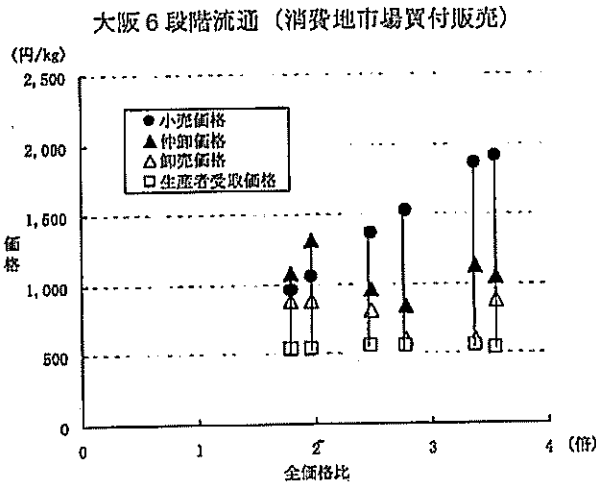
注：卸売価格は、産地卸売段階から産地出荷業者を経て、消費地卸売段階で形成された価格である（以下同じ）。

〔流通経路〕

- 6段階流通（消費地市場委託販売）とは、生産者 → 産地卸売市場の卸売業者 → 産地出荷業者 → 消費地卸売市場の卸売業者 → 仲卸業者 → 小売店舗の6段階を経由する流通で、消費地卸売市場での取引形態が産地出荷業者からの販売委託によるもの（以下同じ）。
- 6段階流通（消費地市場買付販売）とは、6段階を経由する流通で、消費地卸売市場での取引形態が卸売業者による買い付けによるもの（以下同じ）。

図2 かつおの荷口別の流通価格及び全価格比





(2) まいわし

ア 東京の 6 段階流通 (消費地市場委託販売) では、生産者受取価格は154円、卸売価格は457円、仲卸価格は571円、小売価格は890円であり、産地は青森が中心で、小売店舗における販売形態は1尾売り及びトレーパック売りが中心であった。

大阪の 6 段階流通 (消費地市場買付販売) では、生産者受取価格は128円、卸売価格は375円、仲卸価格は396円、小売価格は851円であり、産地は青森で、小売店舗における販売形態は1尾売り及び山売りが中心であった。

イ 小売価格に占める各流通段階別の価格差を割合で見ると、東京の 6 段階流通 (消費地市場委託販売) では、生産者段階で17%、卸売段階で34%、仲卸段階で13%、小売段階で36%であった。また、全価格比は5.78倍であった。

大阪の 6 段階流通 (消費地市場買付販売) では、生産者段階で15%、卸売段階で29%、仲卸段階で2%、小売段階で54%であった。また、全価格比は6.65倍であった (図 3、4)。

図 3 まいわしの小売価格に占める各流通段階別価格差の構成割合

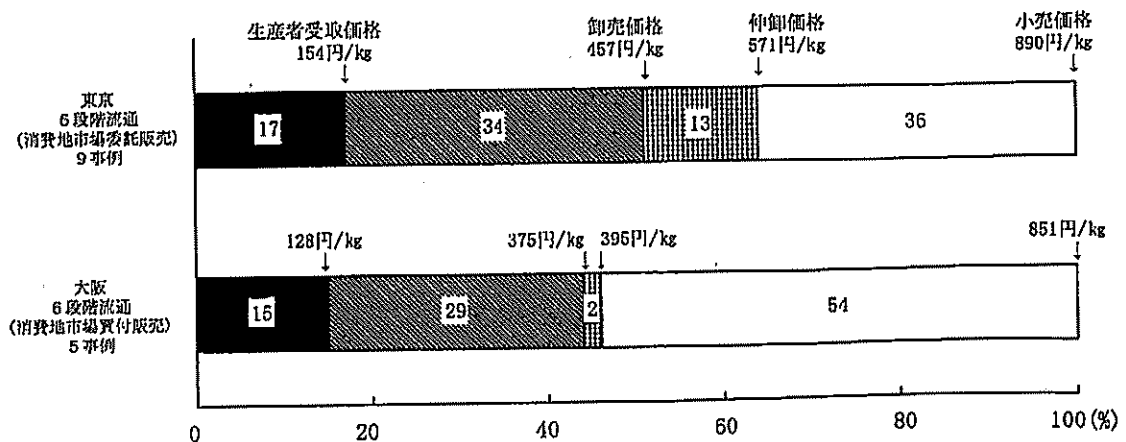
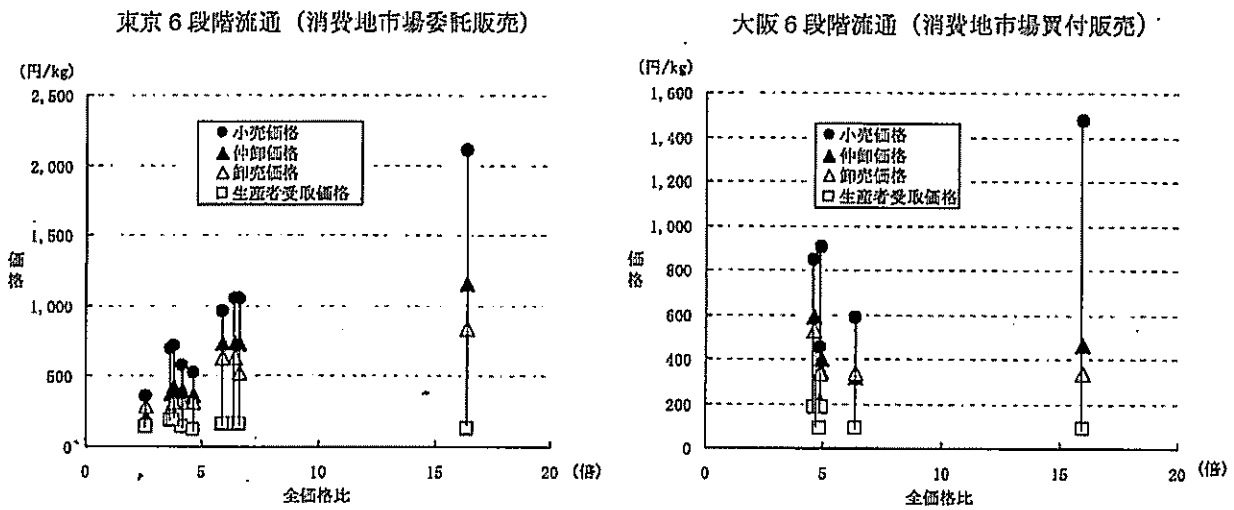


図4 まいわしの荷口別の流通価格及び全価格比



(3) まあじ

ア 東京の6段階流通(消費地市場委託販売)では、生産者受取価格は459円、卸売価格は638円、仲卸価格は835円、小売価格は1,502円であり、産地は山口及び長崎が中心で、小売店舗における販売形態は1尾売り及びトレーパック売りが中心であった。

大阪の6段階流通(消費地市場委託販売)では、生産者受取価格は373円、卸売価格は630円、仲卸価格は770円、小売価格は1,375円であり、産地は長崎で、小売店舗における販売形態は1尾売りであった。

イ 小売価格に占める各流通段階別の価格差を割合で見ると、東京の6段階流通(消費地市場委託販売)では、生産者段階で31%、卸売段階で12%、仲卸段階で13%、小売段階で44%であった。また、全価格比は3.27倍であった。

大阪の6段階流通(消費地市場委託販売)では、生産者段階で27%、卸売段階で19%、仲卸段階で10%、小売段階で44%であった(図5、6)。

図5 まあじの小売価格に占める各流通段階別価格差の構成割合

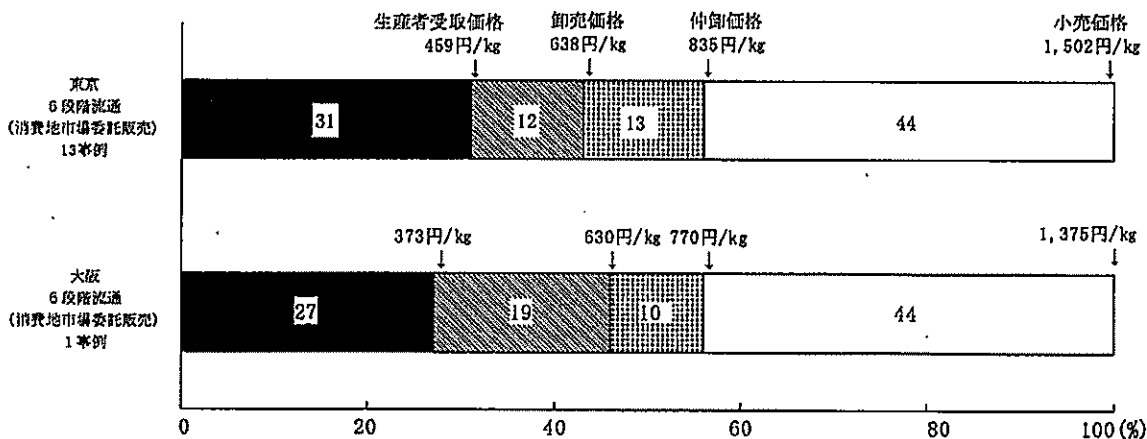
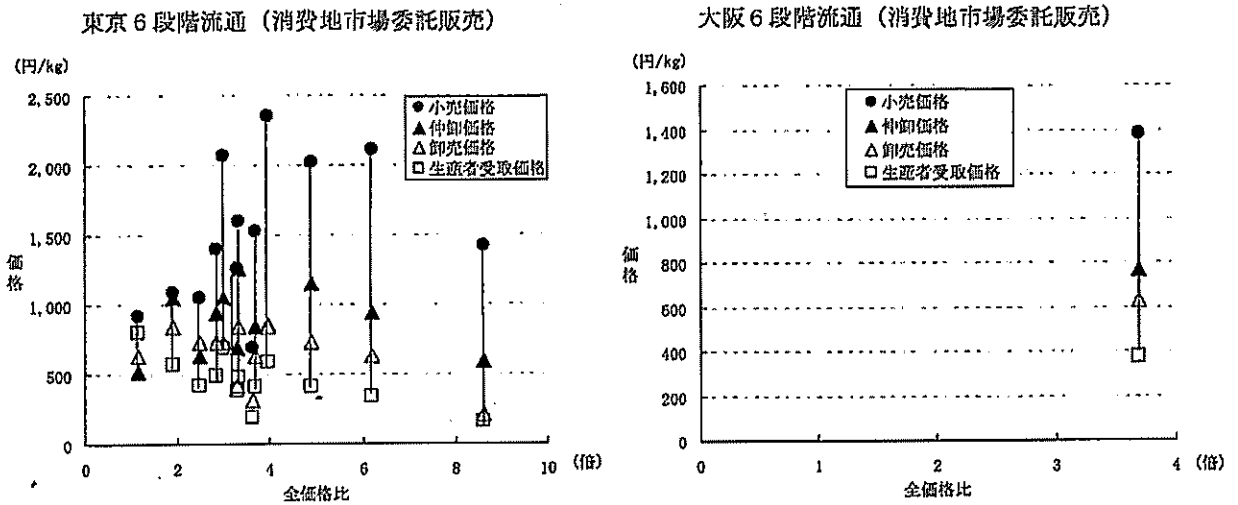


図6 まあじの荷口別の流通価格及び全価格比



(4) さば

ア 東京の6段階流通（消費地市場委託販売）では、生産者受取価格は637円、卸売価格は913円、仲卸価格は1,006円、小売価格は1,553円であり、産地は新潟及び山口で、小売店舗における販売形態は1尾売りであった。

イ 小売価格に占める各流通段階別の価格差を割合で見ると、東京の6段階流通（消費地市場委託販売）では、生産者段階は41%、卸売段階は18%、仲卸段階では6%、小売段階では35%であった。また、全価格比は2.44倍であった（図7、8）。

図7 さばの小売価格に占める各流通段階別価格差の構成割合

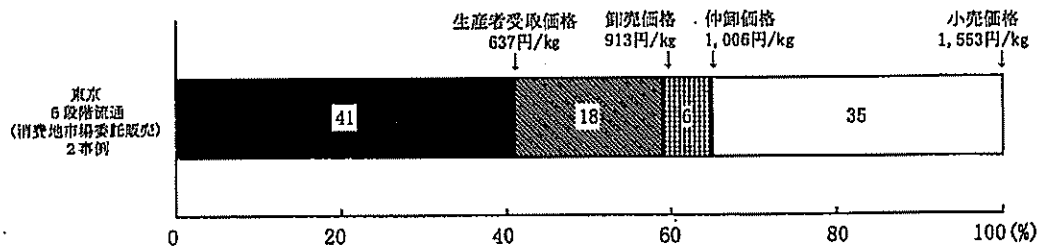
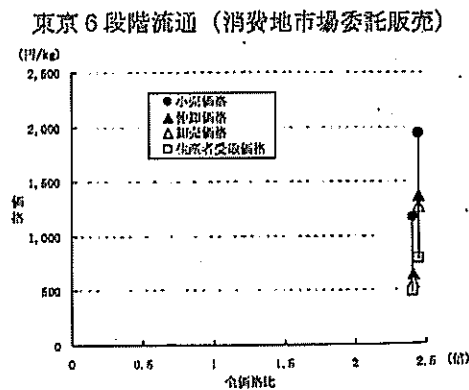


図8 さばの荷口別の流通価格及び全価格比





(5) さんま

ア 東京の6段階流通（消費地市場委託販売）では、生産者受取価格は265円、卸売価格は674円、仲卸価格は792円、小売価格は1,306円であり、産地は北海道が中心で、小売店舗における販売形態は1尾売りが中心であった。

イ 小売価格に占める各流通段階別の価格差を割合で見ると、東京の6段階流通（消費地市場委託販売）では、生産者段階で20%、卸売段階で31%、仲卸段階で9%、小売段階で39%であった。また、全価格比は4.93倍であった（図9、10）。

図9 さんまの小売価格に占める各流通段階別価格差の構成割合

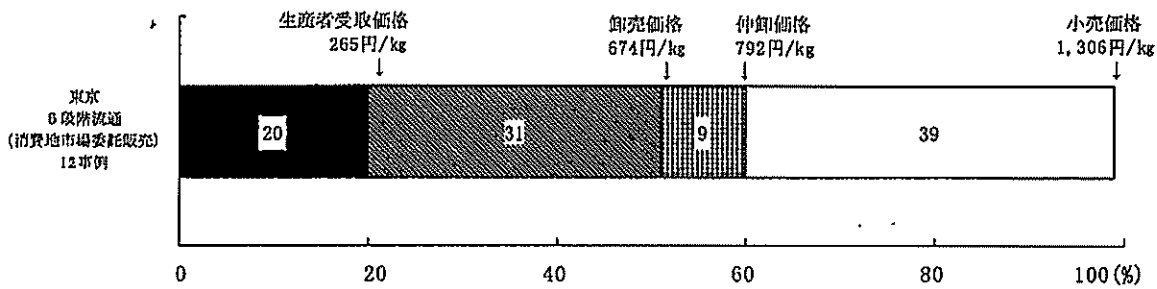
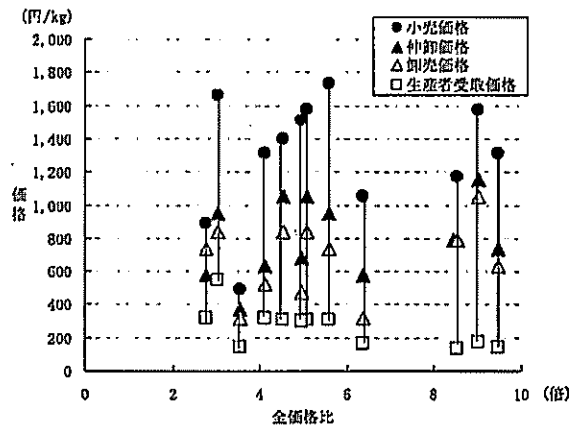


図10 さんまの荷口別の流通価格及び全価格

東京6段階流通（消費地市場委託販売）



(6) するめいか

ア 東京の6段階流通（消費地市場買付販売）では、生産者受取価格は278円、卸売価格は375円、仲卸価格は396円、小売価格は605円であり、産地は青森が中心で、小売店舗における販売形態は1尾売りが中心であった。

大阪の6段階流通（消費地市場買付販売）では、生産者受取価格は280円、卸売価格は371円、仲卸価格は431円、小売価格は556円であり、産地は青森で、小売店舗における販売形態は1尾売りが中心であった。

イ これを小売価格に占める各流通段階別価格差の割合で見ると、東京の6段階流

通（消費地市場買付販売）では、生産者段階で46%、卸売段階で16%、仲卸段階で3%、小売段階で35%であった。また、全価格比は2.18倍であった。

大阪の6段階流通（消費地市場買付販売）では、生産者段階で50%、卸売段階で16%、仲卸段階で11%、小売段階で22%であった。また、全価格比は1.99倍であった（図11、12）。

図11 するめいかの小売価格に占める各流通段階別価格差の構成割合

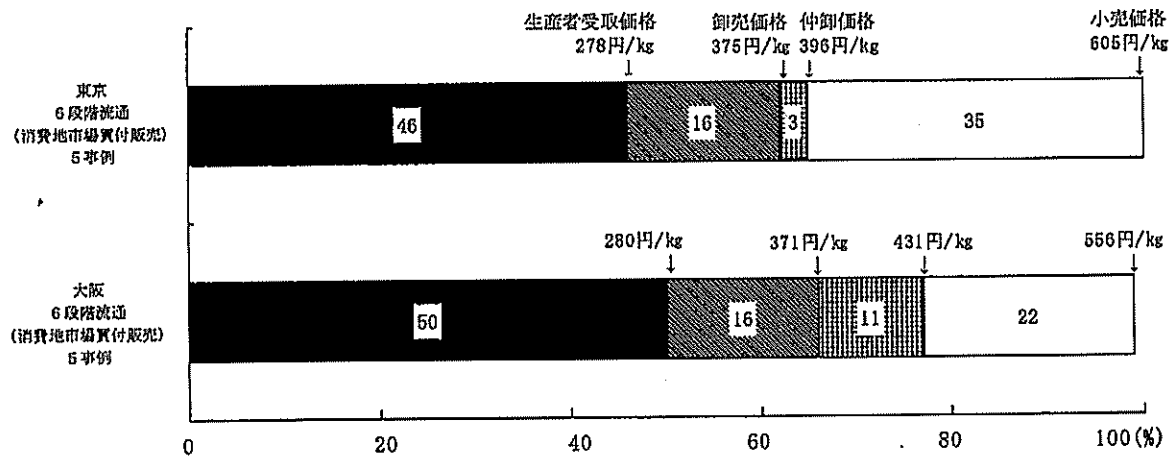
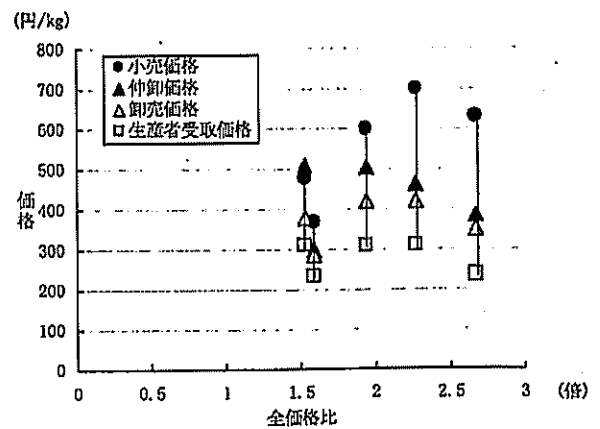
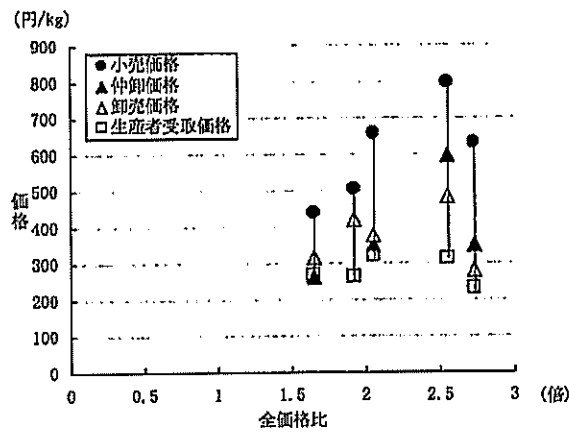


図12 するめいかの荷口別の流通価格及び流通価格比

東京 6 段階流通（消費地市場買付販売）

大阪 6 段階流通（消費地市場買付販売）



(7) 他の品目の流通段階別価格

ア さんま

大阪の6段階流通（消費地市場買付販売）では、生産者受取価格は327円、卸売価格は617円、仲卸価格は604円、小売価格は951円であり、仲卸価格が仕入価格より安値であった。産地は北海道及び青森で、小売店舗における販売形態は1尾売りであった。

小売価格に占める各流通段階別価格差の割合で見ると、生産者段階では34%、卸売段階では30%、仲卸段階では仲卸価格が仕入価格を下回ったことからマイナス1%、小売段階では36%であった。

また、これを全価格比で見ると、2.91倍であった。

イ はまち（養殖）

(7) 東京の5段階流通（消費地市場買付販売）では、生産者受取価格は835円、卸売価格は889円、仲卸価格は903円、小売価格は1,333円であり、産地は鹿児島で、小売店舗における販売形態は切り売りであった。

小売価格に占める各流通段階別価格差の割合で見ると、生産者段階では63%、卸売段階では4%、仲卸段階では1%、小売段階では32%であった。

また、これを全価格比で見ると、1.60倍であった。

(イ) 東京の4段階流通（消費地市場買付販売、仲卸を通らない。）では、生産者受取価格は832円、卸売価格は883円、小売価格は1,213円であり、産地は鹿児島で、切り売りであった。

小売段階に占める各流通段階別価格差の割合で見ると、生産者段階では69%、卸売段階では4%、小売段階では27%であった。

また、これを全価格比で見ると、1.46倍であった。

(ウ) 大阪の5段階流通（消費地市場買付販売）では、生産者受取価格は955円、卸売価格は1,103円、仲卸価格は1,155円、小売価格は2,258円であり、産地は香川で、加工売（刺身）であった。

小売段階に占める各流通段階別価格差の割合で見ると、生産者段階では42%、卸売段階では7%、仲卸では2%、小売段階では49%であった。

また、これを全価格比で見ると、2.36倍であった。

ウ まだい（養殖）

(7) 東京の6段階流通（消費地市場委託販売）では、生産者受取価格は872円、卸売価格は1,050円、仲卸価格は1,365円、小売価格は3,195円であり、産地は三重で、小売店舗における販売形態は切り売り及び加工売り（刺身）であった。

小売価格に占める各流通段階別価格差の割合で見ると、生産者段階では27%、卸売段階では6%、仲卸段階では10%、小売段階では57%であった。

また、これを全価格比で見ると、3.66倍であった。

- (イ) 大阪の5段階流通（消費地市場買付販売）では、生産者受取価格は695円、卸売価格は1,116円、仲卸価格は1,050円、小売価格は2,058円であり、仲卸価格が仕入価格より安値であった。産地は愛媛で、切り売り及び加工売り（刺身）であった。

小売段階に占める各流通段階別価格差の割合で見ると、生産者段階では34%、卸売段階では20%、仲卸段階では仲卸価格が仕入価格を下回ったことからマイナス3%、小売段階では49%であった。

また、これを全価格比で見ると、2.96倍であった。

#### エ ほたてがい（むき身）

- (7) 東京の6段階流通（2産地出荷業者を經由、消費地市場委託販売）では、生産者受取価格は1,350円、卸売価格は1,890円、仲卸価格は2,685円、小売価格は4,365円であり、産地は宮城が中心で、小売店舗における販売形態は加工売り（刺身）が中心であった。

小売価格に占める各流通段階別価格差の割合で見ると、生産者段階では31%、卸売段階では12%、仲卸段階では18%、小売段階では38%であった。

また、これを全価格比で見ると、3.23倍であった。

- (イ) 大阪の6段階流通（2産地出荷業者を經由、消費地市場買付販売）では、生産者受取価格は1,395円、卸売価格は2,363円、仲卸価格は2,678円、小売価格は4,200円であり、産地は岩手及び宮城で、量り売り及びトレーパック売りであった。

小売価格に占める各流通段階別価格差の割合で見ると、生産者段階では33%、卸売段階では23%、仲卸段階では8%、小売段階では36%であった。

また、これを全価格比で見ると、3.01倍であった。

#### オ 塩ざけ

- (7) 東京の6段階流通（消費地市場買付販売）では、生産者受取価格は389円、卸売価格は641円、仲卸価格は945円、小売価格は3,000円であり、産地は北海道で、小売店舗における販売形態は切り売りであった。

小売価格に占める各流通段階別価格差の割合で見ると、生産者段階では13%、卸売段階では8%、仲卸段階では10%、小売段階では69%であった。

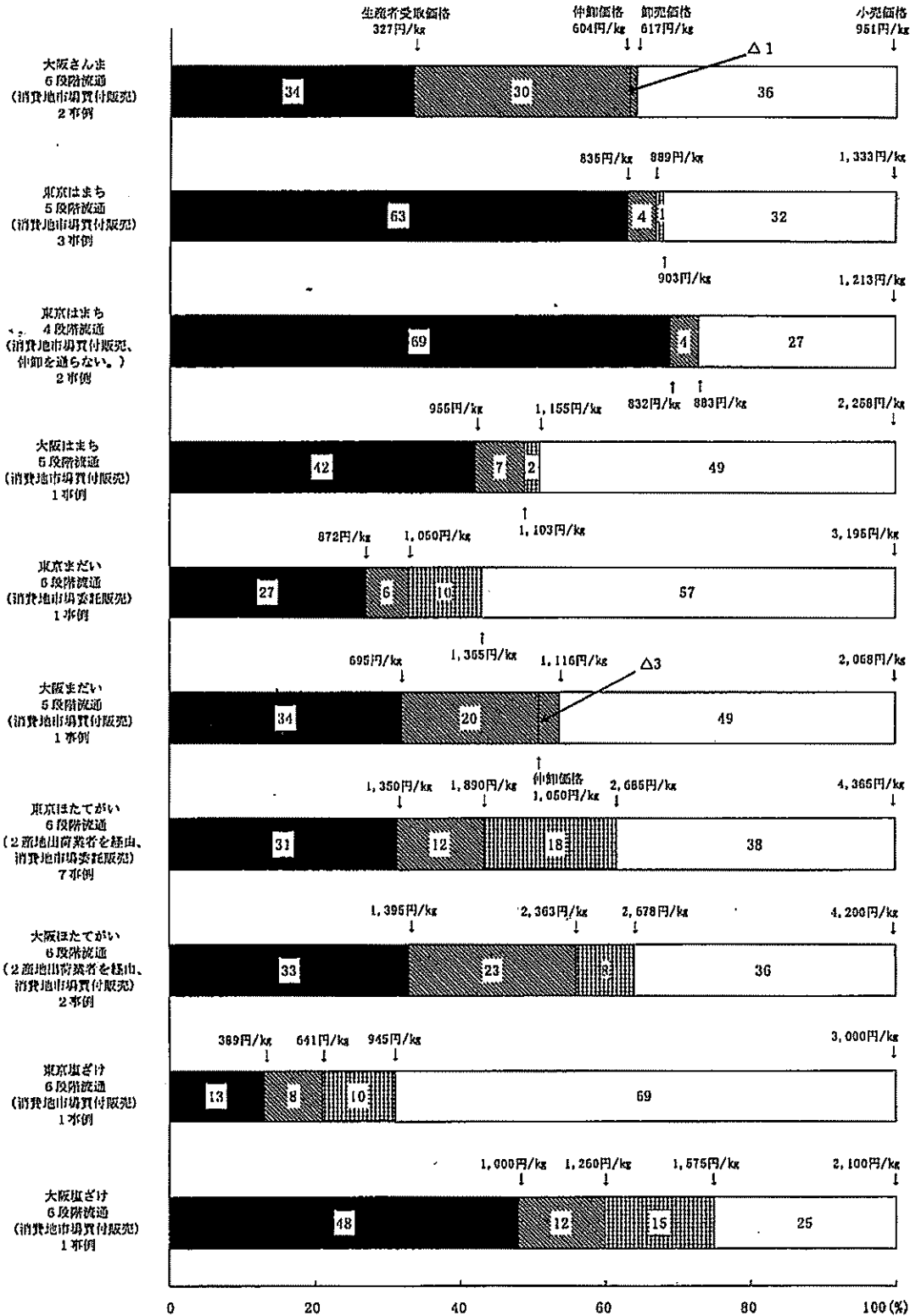
また、これを全価格比で見ると、7.71倍であった。

- (イ) 大阪の6段階流通（消費地市場買付販売）では、生産者受取価格は1,000円、卸売価格は1,260円、仲卸価格は1,575円、小売価格は2,100円であり、産地は北海道で、切り売りであった。

小売段階に占める各流通段階別価格差の割合で見ると、生産者段階では48%、卸売段階では12%、仲卸段階では15%、小売段階では25%であった。

また、これを全価格比で見ると、2.10倍であった（図13）。

図13 他の品目における小売価格に占める流通段階別価格差の構成割合



【流通経路】

- 5段階流通 (消費地市場買付販売) とは、生産者→産地出荷業者→消費地卸売市場の卸売業者→仲卸業者→小売店館の流通経路で、消費地卸売市場における集荷方法は卸売業者による買い付けである (以下同じ)。
- 4段階流通 (消費地市場買付販売、仲卸を通らない) とは、生産者→産地出荷業者→消費地卸売市場→小売店館の流通経路で、消費地卸売市場における集荷方法は卸売業者による買い付けである (以下同じ)。
- 6段階流通 (2産地出荷業者を経由、消費地市場委託販売) とは、生産者→産地出荷業者1→産地出荷業者2→消費地卸売市場の卸売業者→仲卸業者→小売店館の流通経路で、消費地卸売市場における集荷方法は産地

出荷業者による販売委託である（以下同じ。）。

- 4 6段階流通（2産地出荷業者を經由、消費地市場買付販売）とは、6段階流通（2産地出荷業者を經由、消費地市場委託販売）の流通主体を經由し、消費地卸売市場における集荷方法は卸売業者による買い付けである（以下同じ。）。

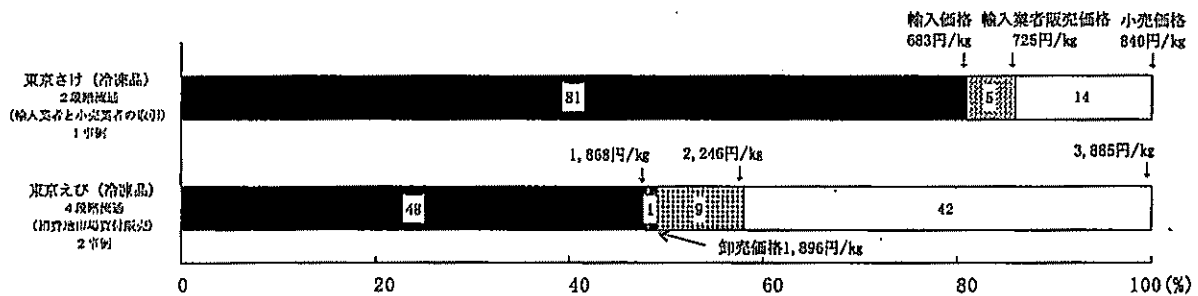
## (8) 輸入品の流通段階別価格

輸入品は、東京の小売店舗で販売されたさけ（冷凍品）及びえび（ブラックタイガー、冷凍品）であった。

さけ（冷凍品）は、2段階流通（輸入業者と小売業者の取引）で、輸入価格は683円、輸入業者販売価格は725円、小売価格は840円（全価格比1.23倍）であり、産地はチリで、小売店舗における販売形態は切り売りであった。

えび（ブラックタイガー、冷凍品）は、4段階流通（消費地市場買付販売）で、輸入価格は1,868円、卸売価格は1,896円、仲卸価格は2,246円、小売価格は3,885円（全価格比2.08倍）であり、産地はインドネシアで、小売店舗における販売形態は1尾売りであった（図14）。

図14 輸入品における小売価格に占める各流通段階別価格差の構成割合



### 〔流通経路〕

- 2段階流通（輸入業者と小売業者の取引）とは、輸入業者→小売店舗の流通経路である（以下同じ。）。
- 4段階流通（消費地市場買付販売）とは、輸入業者→消費地卸売市場の卸売業者→仲卸業者→小売店舗の流通経路で、消費地卸売市場における集荷方法は卸売業者による買い付けである（以下同じ。）。